

(別紙4(2))

事業所名 グループホームなでしこの家

目標達成計画

作成日: 平成 27年 10月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		午前と午後のレクリエーション、リハビリの見直しをしてみる。身体的な衰えに対するリハビリの強化をし、転倒のリスクを少なくしてはどうか。	・今ある器具を見直し、使用する回数を増やしていく。 ・TV体操、他のビデオ探し。 ・外出(外歩き)を増やし、骨を丈夫にする。	・ヘルパーの意識をまず変えて行く。 ・日勤のヘルパーが主に出来る事、出来そうなメニューを作る。 ・外出(外歩き)をサポート・援助し、外気を浴び骨を丈夫にする。	12ヶ月
2	50	買い物支援を増やす。	自分で欲しい物を買求める喜びを持たせる。	車に乗れる日勤のヘルパーがトライしてみる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。